

「図書・雑誌書誌ファイル両方に登録された書誌(境界領域資料)の取り扱い」

東京大学生産技術研究所図書室

武笠まゆみ

1. はじめに

NACSIS-CAT/ILL の普及により図書館間の文献複写・相互貸借の件数は年々飛躍的に増大し、図書館員の業務量のなかでも大きな位置を占めている。依頼の前に所蔵検索を利用者または、図書館職員が行うことになる。図書館員の検索の手順として、まずタイトルなどから、図書か雑誌か判断する。判断した方の書誌ファイルを開き、検索を始めるのが一般的方法であるが、このとき図書か雑誌か、判断がつかねる資料が存在する。

Thomas R. Sanders は、「定期的に刊行されるモノグラフの取り扱いについて」(図書館界 Vol. 42(1), 1990 岩下康夫; 遠山潤共訳)の論文中、“モノグラフとも逐次刊行物ともはっきりしない出版物の「灰色領域」が、厳然として存在している。”と論じている。

(注: この論文中使われている「モノグラフ」の意味は、本質的に 1 回きりの出版物として使用されており、逐次刊行物以外の出版物の総称である。)

学術情報センター発行の「目録情報の基準 第 3 版」によると、“モノグラフシリーズ等、両者の境界領域の資料は、双方のファイルにレコードを作成することが望ましい。”とされ、双方への登録を進めているが、実施している参加館は極々少数という現状である。

本論では実例の紹介と、登録上の分かれが起きる理由を考察して、境界領域資料をもれなく検索するための方法を考えていきたい。

本文中の「逐次刊行物」と「雑誌」は、同意の扱いとする。目録規則のなかでは、図書以外の刊行形態に「逐次刊行物」が使われているが、図書書誌ファイル、雑誌ファイルと対応させるため、雑誌を主に使用する。

2. 図書書誌ファイルと雑誌書誌ファイル

2.1 ファイル区分の基準

学術情報センター総合目録データベース(以下 NC)上では資料の書誌情報を管理するための書誌ファイルは、参加組織共有のファイルであり、図書書誌ファイル、雑誌書誌ファイルに分かれている。言い換えれば、図書館で受け入れた資料は原則的に図書扱いか、雑誌扱いか、どちらかに判断をする必要があり、その書誌情報は各参加館共有のファイルになるということである。

「日本目録規則 1987年版」「英米目録規則 第二版」各々の資料区分では、終期を予定せず、巻次・年月次を追って継続刊行される出版物を逐次刊行物としてそれ以外は図書と区分している。

「目録情報の基準 第 3 版」によると、原則として図書扱いとするものとして、モノグラフシリーズ、刊行頻度の極度に低い逐次刊行物、差し替えを行うルーズリーフ出版物、等をあげている。また、原則として雑誌扱いとするものとして、年報(モノグラフシリーズを除く)、年鑑、要覧、Advance

もの等 をあげている。

その他参加館が、歴史的経緯を得て独自で定められた基準があればその基準によっても受け入れていることもおおいにあり得る。

・NC両書誌ファイル構造の相違点

「目録情報の基準 第3版」2.2.1の「解説」によると“図書書誌ファイルにおいては、個々の巻号の単位がレコード作成単位となる。一方、雑誌書誌ファイルにおいては、レコード作成単位は逐次刊行物書誌単位であり”と記されている。

このことは、図書館での配架状況を考えればわかりやすい。一般的には、図書は個別に分類番号をつけその番号順、雑誌は合冊製本され誌名順にそれぞれ別置されていることが多い。ただし雑誌の種類が多いところでは大まかな分類を行っている館があるが、あくまでも大まかであり、アルファベット順、50音順、はあってもその館が定める誌名順に配架されている。

NCファイルの図書書誌、雑誌書誌のなかで、それぞれにしかないフィールドを「目録システム利用マニュアル 検索編 第4版」4.3フィールド一覧を元に表にして書き出してみた。

ファイル別フィールドの使用状況

NACSIS-CATでのフィールド名	内容	図書書誌ファイル	雑誌書誌ファイル
BHNT	変遷注記	×	
CLS	分類		×
CODEN	米国材料試験協会雑誌識別コード	×	
CW	内容著作注記		×
FID	変遷ファミリーID	×	
FREQ	刊行頻度コード	×	
ISBN	国際標準図書番号		×
NDLCN	国立国会図書館カード番号		×
NDLPN	国立国会図書館雑誌番号	×	
OTHN	その他の番号		×
PSTAT	出版状況コード	×	
PTBL	書誌構造リンク		×
REGL	定期性コード	×	
ULPN	ULP(旧学総目)番号	×	
UTL	統一書名リンク		×
VLYR	巻次年月次	×	
VOL	巻冊次等		×
XISBN	取消/無効ISBN		×
XISSN	取消/無効ISSN	×	

：当該フィールドあり(必須ではない)

×：当該フィールドなし

なお、両ファイル固有のフィールドで必須項目のものはなかった。

図書書誌ファイル（以下図書ファイル）のみのフィールドは，その書誌個別の単位を識別する為のフィールド（内容著作注記，分類，統一書名リンク等）であり，雑誌書誌ファイル（以下雑誌ファイル）のみのフィールドは，逐次に刊行されていく書誌単位を識別するためのフィールド（刊行頻度コード，定期性コード，変遷ファミリー ID 等）に大まかに分かれる。

境界領域資料が疑われる場合，「PTBL」「OTHN」2つのフィールドに注意を向ける必要がある。

この2つは図書ファイルのみに存在している（必須ではない）。図書ファイル上の「PTBL」が，雑誌ファイルの「TR」に登録されていることがある。書誌階層で，親書誌にあたるものを雑誌の標題として雑誌ファイルに存在している。また，「OTHN」に，「CODEN」や，「ISSN」が入っていることがある。（例）として「NASA contractor report」を提示する。上から順に，図書レコードの子書誌の中の1件，親書誌，雑誌レコードである。

< 「NASA contractor report」子書誌レコード >

洋図書書誌詳細表示	N C	2/	6
>:			
<BA22022361>			
CRTDT:19940418 CRTFA:FA003476 RNWDT:19940418 RNWFA:FA003476			
GMD: SMD: YEAR:1992 CENTRY:us TTLL:eng TXTL:eng ORGL:			
VOL: ISBN: PRICE:			
TR:The effect of a redundant color code on an overland identification task / by Kevin O'Brien			
PUB:Washington, D. C. : National Aeronautics and Space Administration , 1992			
PHYS:iii, 24 p. ; 27 cm			
NOTE:Prepared for Lyndon B, Johnson Space Center under contract NASA9-17900			
PTBL:NASA contractor report <BA1162948X> 4445//a			
AL:O,Brien, Kevin <>			

< 「NASA contractor report」親書誌レコード >

洋図書書誌詳細表示	N C	1/	1
>:			
<BA1162948X>			
CRTDT:19910218 CRTFA:FA001991 RNWDT:19910218 RNWFA:FA001991			
GMD: SMD: YEAR: CENTRY:us TTLL:eng TXTL:eng ORGL:			
VOL: ISBN: PRICE:			
TR: NASA contractor report			
PUB:Washington : National Aeronautics Space Administration; for sale by the Office of Technical Services, Dept. of Commerce			
PHYS:			

< 「NASA contractor report」 雑誌レコード >

洋雑誌書誌詳細表示	N C	1/	1
>:			
<AA00749958> CRTDT:850716 RNWDT:19990928			
GMD:	SMD:	YEAR:196-	CNTRY:us TTL:eng TXTL:eng ORGL: REGL:x TYPE:m
ISSN:05657059 LCCN:79008477			
CODEN:NSCRAQ ULPM:ON0020T			
TR: NASA contractor report / National Aeronautics and Space Administration			
PUB:Washington, D. C. : NASA			
PHYS:			
VT:VT:NASA CR			
VT:VT: National Aeronautics and Space Administration contractor report			
NOTE:Description based on: 2 (1963)			
NOTE:Began with 1, 1963			
SH:LCSH:Aeronautice//K			

3. 境界資料の実際

3.1 実例

3.1.1 モノグラフシリーズ

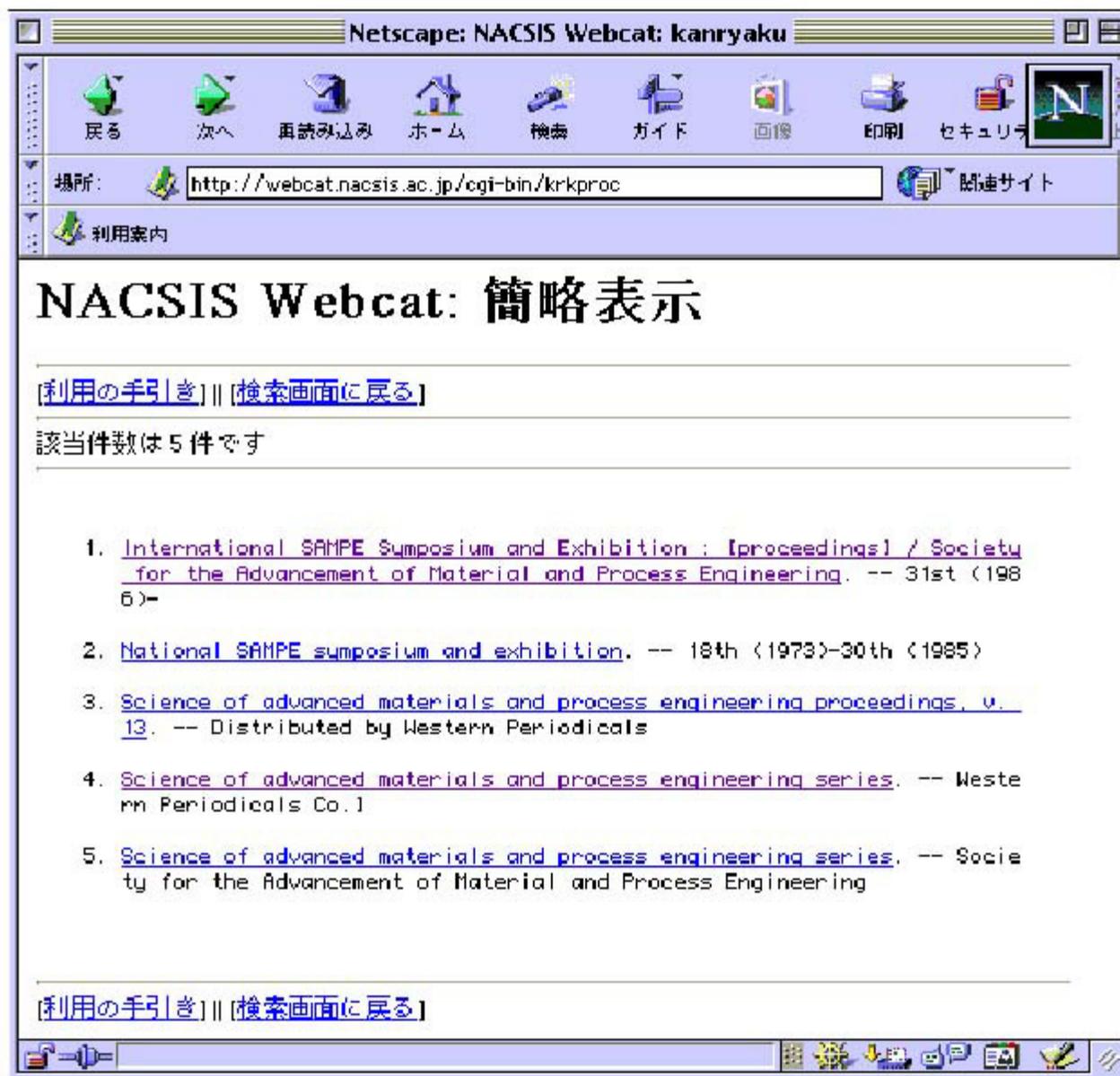
前述の" NASA contractor report "は、「PTBL」フィールド、雑誌ファイルの「TR」フィールドが同じデータが入っている。

2つのフィールドが違うものがある。

例として"International SAMPE Symposium and Exhibition "と、"Science of advanced materials and process engineering series "がある。

"International ~"は雑誌ファイルで、「VT」フィールドに"Science of ~"が記述され、"Science of ~"は図書ファイルの親書誌として登録され、"International ~"は固有のタイトルになっている。Nacisis WEBcat で検索する（全書誌中でタイトル名を"Science of ~"と入力）と、次頁のように検索された。

<Science of advanced materials and process engineering series で検索>



「1. International ～」は雑誌の書誌ファイルで、「VT」中に検索語がある。

特定の主題を元に出版社が、シリーズとして刊行しているもので、内容は個人の著作から会議録、論文集と雑多である。例として"Springer Series in ~"がある。

NCで検索すると、図書ファイルで68件、雑誌ファイルで15件登録されている。

<図書書誌ファイルで検索した"Springer Series in ~">

洋図書書誌検索・簡略表示	NC	1-	10/	68
>:				
TITLE=springer series				
AUTH =				
AKEY :	ISBN:	LCCN:		
PUB =		YEAR:		
PLACE=		CNTRY:	LANG:	
SH =				
WORDS=				
ID :	PID:			
FILE :				
1.<BA00004912>Springer series in synergetics. -- Springer.				
2.<BA00007375>Springer series in solid-state sciences. -- Springer-Verlag.				
3.<BA00018600>Springer series in statistics. -- Springer-Verlag.				
4.<BA00022186>Springer series in computational physics. -- Springer Verlag.				
5.<BA00045760>Springer series on atoms + plasmas. -- Springer Verlag.				
6.<BA00046082>Springer series in electrophysics. -- Springer Verlag.				
7.<BA00063354>Springer series in optical sciences. -- Springer Verlag.				
8.<BA00067956>Springer series in Soviet mathematics. -- Springer Verlag.				
9.<BA00081141>Springer series in social psychology. -- Springer Verlag.				
10.<BA00106774>The Springer series on death and suicide / Robert Kastenbaum, series editor. -- Springer.				

<雑誌書誌ファイルで検索した"Springer Series in ~">

洋雑誌書誌検索・簡略表示	NC	1-	10/	15
>:				
TITLE=springer series				
AUTH =				
AKEY :	ISSN:	CODEN:	LCCN:	
PUB =		YEAR:		
PLACE=		CNTRY:	LANG:	
SH =				
WORDS=				
ID :	PID:			
FILE :				
1.<AA10619041>Springer series, focus on men. -- Vol. 1 (1980)-.				
2.<AA10655293>Springer series in optical sciences. -- 1 (1976)-.				
3.<AA10685385>Springer series on medical education. -- Vol. 1 (1980)-.				
4.<AA10710529>Springer series in biophysics. -- 1 ([1987])-.				
5.<AA1071053X>Springer series in information sciences. -- Vol. 1 ([1980])-.				
6.<AA10714177>Springer series in materials science. -- 1 ([1986])-.				
7.<AA10724749>Springer series in brain dynamics. -- 1 (1988)-.				
8.<AA10773380>Springer series in surface sciences. -- 1 ([1986])-.				
9.<AA10997071>Springer series in solid-state sciences. -- Vol. 1([1978])-.				
10.<AA11034101>Springer series on atoms + plasmas.				

3.1.2 統計類

国勢調査の各報告書類中にも図書ファイル・雑誌ファイル両方に登録されているものがある。例として、“日本の就業構造：就業構造基本調査の解説 / 総理府統計局”をあげる。
<AN10340716> <BA41793711>

白書のなかで、「オンライン・ニュースレター」でも取り上げられている“経済白書 平成6年版 CD-ROM版”<AN10471882> <BN11261996> は、白書は雑誌扱いではあるが、書誌に階層構造があり図書ファイルにも登録されている。

3.1.3 科研費報告書

通常3年間と期間が限られている＝終巻が予定されている逐次刊行物である。特定研究の場合、3年以上続くことや、研究課題名が、変更されながら継続されていくこともある。研究代表者の所属する大学と国立国会図書館に必ず提出してあるはずであるが、探索しにくい資料であるといえる。

3.2 「境界資料」が生じる理由の考察

3.2.1 受入作業時

雑誌受入の場合は、年間購読の形を取るために、雑誌であるとわかりやすい。が、図書の受入書類作成時にタイトル名か、シリーズ名か判別しづらいことがある。シリーズ名の下に固有のタイトルがあれば、図書として受入が妥当であるが、書類の段階でははっきりとしないことが多い。受入書誌ファイルからNCのデータを利用する場合も、図書ファイル・雑誌ファイルどちらを利用するか、作業者の判断が必要である。

3.2.2 目録作業時

検索の下手際や経験不足により、一方にのみヒットした場合、そこに所蔵ファイルをリンクさせてしまうことが考えられる。このようなケアレスミスは、検索技術の向上や経験の積み上げから克服することができる。

また「目録情報の基準」の捉え方が、参加館独自の基準、各カタログガーの基準で微妙にゆれが生じてしまうことがある。これは、「オンライン・システムニュース」のアナウンス等で、注意を喚起できる。

一番問題なのは、個別の所蔵ファイル作成の手間を嫌って、巻次だけの雑誌ファイルに所蔵を作成してしまうようなことがないと言い切れないのではないだろうか？あくまで推測ではあるが、「ISSN」がついているから雑誌だとモノグラフシリーズ等を雑誌ファイルに登録できないことはない。必ずしも専門知識・カタログガーとしての職業意識があるもののみが目録を作成しているわけではない現状から起こり得ないとは断定できないのではないか。

3.2.3 運用管理上の問題

書架に配架する場合、一冊だけ（端本）で配架すると、運用管理上心許ない。国立大学では図書資料はソフトカバーでも備品に登録されるが、雑誌はソフトカバーの場合は、消耗品として扱われ、製本して初めて備品登録する。継続して受け入れられる予定のない端本の雑誌で、固有のタイトルととれる表題があれば、図書として登録した方が、散逸するおそれがないと、筆者が最初に配属された図

書館で指導され実行していたが、NC 上で境界資料になっているものの雑誌ファイルの所蔵をみると、端本が多く見受けられる。運用管理上どのような取扱を行っているのだろうか？

以上、半ばこじつけに近いものもあるが「境界資料」の発生要因について考察を加えてみた。受入時、目録作業時のゆれが、要因の大方を閉めているのではないだろうか。

3.3 資料利用者の利便性(自然科学分野の場合)

ここでは、自然科学分野に限って論じていく。また資料利用者とは、図書館利用者・職員を含めたものとする。資料を活用し、利用者にサービスを供する点で、職員も資料利用者に当たる。

図書館利用者から資料の所蔵場所を訊ねられるとき、利用者が元に行っている典拠は、自然科学分野に限れば、論文等の引用文献や、二次資料からの引用が大部分を占める。引用は論文著者、論文名、収録資料名、巻次、刊行年、ページの順で記されているが、収録資料名が、シリーズ名か、固有のタイトルかはっきりしないことがある。

工学全般のデータベースである "Compendex Plus" では、別タイトルとして固有のタイトルも記述されているが、簡易表示の場合はでてこないで、シリーズ名と、巻次を頼りに検索していく。

会議録・レポートの場合、シリーズ名はあるが固有のタイトルのみ引用されることがある。 そのような場合はタイトルから検索していく。

「境界資料」を検索するとき、図書ファイルでの固有のタイトルが重要なときもあるし、雑誌ファイルで巻次が一覧に表示され便利なきもある。

両ファイルから同じ情報(所蔵場所の特定)が得られれば良いのだが、現状ではそれぞれのファイルを開いて、調査する必要がある。

4. よりよく登録・検索するために

4.1 フィールドの工夫

新フィールドの設定

図書ファイルの「PTBL」と、雑誌ファイルの「TR」が、同一名と判別できたら、「ファイル参照」のフィールドを設定し「図書(雑誌)ファイルも見よ」と注記が現れるような機能が機械的に実行は可能ではないのだろうか。

既存フィールドの利用

- 1) 「ISBN」「OTHN」フィールドの雑誌ファイルでの使用を認める。コードが判っていれば、これで両ファイルを検索できる。
- 2) 「NOTE」フィールドの活用。注意を喚起するような記述を入れる。例として、ISBN, ISSN 等を記入したり、「図書(雑誌)ファイルも見よ」 etc.

4.2 両ファイルに同時入力する方法の模索

所蔵登録時に、図書所蔵ファイル・雑誌所蔵ファイル両方に簡便に登録できるようなシステムにすることはできないだろうか？ 図書の所蔵登録が終わると、雑誌の所蔵ファイルの登録ファイルが現れるようなものを想定している。雑誌ファイルから登録する場合、図書ファイルの子書誌の一覧から、

探し出すことになり、巻次の同定の判別にやや難点がある。

5. 書誌調整上の問題点から

現在「境界資料」を、どちらかの書誌にまとめる書誌調整は行われてはいない。参加館の歴史的な基準や、資料区分の変更となると目録担当係だけの判断で決められない。しかし、特に雑誌ファイルは、学術雑誌総目録の源データになる。雑誌として記載されている資料が、記載以外にも参加館に所蔵されているとは、資料の有効利用が行われるとは言い難い。ここで思い切って両ファイルにそれぞれ参加館が登録する、どちらか迷ったら、両方登録するようにはならないだろうか？もうすでにあるデータは一括して NC で修正をかけ、これからの資料からと考えると、元々資料の割合から見れば少数であり、連動して登録できるようであれば、業務量もそれほど増加する事はないのでは。一つの試案として提案したい。

6. まとめ

「境界領域資料」の取扱いについて、すこしでもわかりやすく登録・検索ができないかという思いつきからの本文である。これからも様々な事例に当たることになるが、NC ファイルを利用する人の立場にたち「境界」とはいえ、うろたえず面倒くさがらずに取扱えることができればと思う。小さな積み重ねが図書館資料の有効な活用と、サービスの向上につながるのではないだろうか？

[参考文献]

- ・ Sanders, Thomas R. (岩下康夫；遠山潤共訳)「定期的に刊行されるモノグラフの取り扱いについて」図書館界 Vol .42(1),1990,p.34-45
 - ・「目録情報の基準 第3版」学術情報センター 1997
 - ・「目録システム利用マニュアル検索編 第4版」
- (<http://www.cat.op.nacsis.ac.jp/MAN2/KENSAKU4/tbl-4-1.html>)